

歴認研活動記録

歴史認識問題研究会・役員名簿（令和7年9月現在）

会 長：西岡 力（モラロジー道德教育財団教授・麗澤大学特任教授）
 副 会 長：高橋史朗（麗澤大学大学院特任教授・モラロジー道德教育財団教授）
 同 　　：江崎道朗（評論家・麗澤大学特任教授）
 事務局長：勝岡寛次（麗澤大学国際問題研究センター客員教授）
 同 次長：長谷亮介（麗澤大学国際問題研究センター客員准教授）
 幹 事：久野 潤（日本経済大学准教授）
 　　　：久保田るり子（産経新聞編集局編集委員）
 監 査：島田洋一（福井県立大学名誉教授）
 顧 問：櫻井よしこ（ジャーナリスト）
 同 　　：渡辺利夫（拓殖大学学事顧問・前総長）

歴認研活動履歴（令和7年3月以降）

令和7年（2025）

6月21日（土） 歴史認識問題研究会・公開研究会*

「慰安婦問題をめぐる日韓関係の最前線」（於星陵会館）

柳錫春（延世大学元教授）

「慰安婦発言最高裁無罪判決を勝ち取るまで」

西岡力（麗澤大学特任教授）

「ポスト尹政権下の日韓関係」

* 本公開研究会の記録は、本誌に掲載しています。

月例研究会（非公開）開催記録（第22回～第27回）*25回は上記公開研究会と兼ねています。

回	日時	講師（肩書）	テーマ
22	7.3.22	北村稔（立命館大学名誉教授）	中華人民共和国と宋明理学（朱子学）—中国における法と倫理
		大場一央（早稲田大学非常勤講師）	戦う江戸思想—日本を作った物語とは
23	7.4.26	中村覚（日本沖縄政策研究フォーラム理事長）	沖縄の危機から始まった明治維新
		長谷亮介（歴史認識問題研究会研究員）	戦時期における高島炭鉱の実態を考察する（産業遺産国民会議委託研究報告）
24	7.5.17	熊倉潤（法政大学教授）	中国の少数民族問題
		中村恵子（「チャンネル桜」北海道キャスター）	小学校歴史教科書における北海道に関する記述、図の問題点について
25	7.6.21	柳錫春（延世大学元教授）	慰安婦発言最高裁無罪判決を勝ち取るまで
		西岡力（麗澤大学特任教授）	ポスト尹政権下の日韓関係
26	7.7.26	城内康伸（東京新聞元ソウル支局長）	松村義士男と北朝鮮在留邦人の救出
		筒井正夫（滋賀大学名誉教授）	ネオ・マルクス主義による国家論批判—西川長夫「国民国家論」の構造と問題点
27	7.8.30	大場一央（早稲田大学非常勤講師）	水戸学の「忠孝一致」
		長谷亮介（歴史認識問題研究会研究員）	朝鮮人戦時労働者の新史料について—北海道炭鉱汽船株式会社を中心にして